

## ガバナー補佐退任挨拶



第1Gガバナー補佐

**忠津 章**  
(羽幌RC)

### 「1年間を終えるにあたって」

石丸ガバナーのもと、ガバナー補佐としての1年間の活動は、任期前早い時期からガバナー補佐研修会が始まり、そして「ガバナー公式訪問」「zoom座談会」「世界ポリオデー記念RI第2500・2510地区合同事業」「ガバナー月信」寄稿依頼など、そして何よりも4年ぶりの対面での「都市連合会（IM）」開催と忙しい思いもりましたが、大変有意義な貴重な経験・勉強をさせてもらった1年間でした。

中でも、RI第2510地区12グループの12人のガバナー補佐の皆さんと結んだ「グループLINE」は、それぞれのグループで抱える問題・課題について一緒に考えることが出来たし、知識、経験豊富なガバナー補佐さんの考えを聞くことが出来、大変勉強になりました。

「グループLINEをしよう」と、提案した第3グループの松下ガバナー補佐には大変感謝しています。又、第1グループは3クラブ総勢100名に満たない小グループなので、会員同志がお互いにもっと知り合える親睦事業を行いたいと当初は考えていましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行が5月になったことなどで、実施出来なくて残念に思っています。

石丸ガバナー始め、皆様大変お世話になった1年間でした。ありがとうございました。



第2Gガバナー補佐

**高山 訓正**  
(滝川RC)

### 「ガバナー補佐退任にあたって」

2022-2023年度石丸ガバナーの下で第2グループのガバナー補佐を務めさせて戴きました。前回補佐（滝川）からの申し送り事項でお聞きしておりました就任前研修について予想外の研修の多さに驚きを隠せませんでした。前向きな石丸ガバナーの行動に追従して各クラブとの取り組みについて検討しましたが、コロナには勝てず4クラブ会長・幹事会を2度しか開催できず残念なことになりましたが、IMを開催でき4クラブから98%の登録・出席頂き開催出来ましたこと主幹の滝川RC会員の皆様に感謝申し上げます。

各クラブの例会が無事終了したことにお礼申し上げ退任の挨拶とします。



第3Gガバナー補佐  
松下 早苗  
(栗山RC)

## 「ガバナー補佐退任にあたって」

第3グループ(美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、当別RC、栗山RC)のガバナー補佐に任命していただいた時は愕然としました。ガバナー補佐としての活動の前に9回にも及ぶ研修会で学ぶほど自分の力不足を痛感しました。不安と緊張の中、石丸年度になってしまいました。アフターコロナと言いつつも影響が色濃く残っていて思うようには進まず八方塞がりした。そんな時に光を照らし導いてくれたのが第3グループの各クラブでした。私の力不足をカバーして下さった各会長・幹事には感謝しかありません。これがロータリーなんだと改めて感じました。

「8クラブ」を多い=困難と思って始まりましたが途中から多い=楽しいに代わってきました。同じようなことをしているように思えましたが、それぞれ個性がありどこも素晴らしいという事を体感したからです。8クラブが密に交流することによりロータリーライフはもっと豊かになる。第3グループの強みだという事に気付いた1年間でした。

石丸年度の12人のガバナー補佐の一員に加えて頂いたことを感謝いたします。ありがとうございました。



第4Gガバナー補佐  
古野 重幸  
(札幌RC)

## 「ガバナー補佐退任にあたって」

任期中印象に残る行事などをということでしたので第4・第5グループ合同のIMに関してご報告します。これまで何度もIMに参加しましたが、正直申し上げて楽しく為になったという記憶はありません。土曜日の午後から始まり、懇親会が終わるのは夜という長丁場。メインでの行事では大概講演やパネルディスカッションが行われ、広い会場の後ろの席では多くの会員が居眠り。どうせやるならそんな会にはしたくないという思いから第5グループの平ガバナー補佐と企画をしました。

開催は平日の18時から2時間。IMの趣旨はロータリーを学び、クラブを越えて会員相互の親睦を深めること。今回は「あなたにとってロータリーとは」というテーマでテーブル毎に全員参加でディスカッションを行い、そのまま懇親会に移る形式としました。その問いに対する各々の答えは事前に小冊子にまとめ当日配布し保存版としました。

ガバナー補佐の役目は果たして何か、自分に何ができるのか未だに分かりません。当グループの会長の皆さんは大変しっかりしていて、優秀です。何かお困りのことがあれば何なりとご相談下さいとお願いしてスタートしましたが、私が出る幕はありませんでした。皆さんのご協力に感謝するばかりです。ありがとうございました。



第5Gガバナー補佐

平 昌夫  
(札幌南RC)

## 「ガバナー補佐 退任挨拶」

この一年間、石丸ガバナーのもと第5グループのガバナー補佐としてその大役を何とか務めさせて頂きました。

ガバナー補佐は7月より活動を始めるのですがその前に9回もの研修があり地区研修委員会の嵯峨PG、小山PG、福井PGにはご指導頂きありがとうございました。第5グループは100人を超えるクラブから10数人のクラブまで8クラブあります。会員増強に関してはコロナの影響もありどのクラブも大変ご苦労されているなど感じさせられました。また奉仕活動に関してはどのクラブも特徴ある活動が盛んに行われ感心させられました。

IMは4年ぶりに行われ第4グループの古野ガバナー補佐とご相談させて頂き合同で「あなたにとってロータリーとは」～ロータリーの価値を再発見する～をテーマに会員の皆様が主役となり参加できるIMにし、また親睦も深められるように進めました。コロナの影響で全員参加とは行きませんが約160人の会員の方が出席して頂き有意義なIMとなりました。

一年間を振り返り12人のガバナー補佐がLINEグループで繋がり色々な発信や相談など出来たことはとても心強い事でした。

最後に各クラブの会長、幹事さんをはじめ会員の皆様にご協力を頂き感謝を申し上げたいと思います。1年間ありがとうございました。



第6Gガバナー補佐

吉田 聡  
(倶知安RC)

## 「ガバナー補佐退任にあたって」

第6グループを構成します7つのクラブの皆様には大変お世話になりました。

拙い経験値しか併せ持たない補佐にもかかわらず、各クラブでは暖かく迎えてくださり、交流を深めることができましたのは各クラブの会長、幹事様のお心遣いのおかげです。

特にISFR（インターナショナルスキーフェローシップオブロータリアン）の倶知安開催にあたりまして、日本で初めてISFR開催ということもあって、小樽RC及び小樽南RCの皆様には大会成功に向けてご尽力を賜り改めまして感謝の念に堪えません。

また、年度末ぎりぎりでのIM開催にもご協力を賜り、重ねまして御礼申し上げます。

お蔭様でロコ・ソラーレの本橋麻里様からは、来年度以降のロコ・ソラーレの氷上外合宿の候補地に倶知安町を取り上げたい旨のお話をいただきました。インバウンド以外の観光客の取り込みに一役買ってくれるものと思いきや楽しみでなりません。

今後も奉仕の精神を忘れず地道にロータリー活動に取り組みたいと思います。

この度は、貴重な経験を積ませていただきました。誠にありがとうございました。



第7Gガバナー補佐

五十嵐 宏  
(千歳RC)

## 「ガバナー補佐が一つになった1年」

石丸年度第7グループのガバナー補佐を務めさせていただきましてありがとうございました。

当初、始まる前は研修会が多く、大変な年度だと思ってましたが、始まって石丸ガバナのロータリーを思うところがわかり、出来ることは一緒になって行おうと思いました。

今回、ガバナー補佐の皆さんと最初の会議でメールによるつながりが出来た事が一番良かったのではないのでしょうか。

ガバナー補佐の皆さんは、困った時やわからない時などメールで聞いたり、ご意見を伺って参考にするなどガバナー補佐の皆さんの心が一つになったように思います。

そして今回のガバナー補佐から玉井ガバナーノミニーが選出されたことはありがたいことと思います。頑張ってください。

第7グループとして1年間で良かった事は、女性会員が約20%近くに多くなったことです。ただ、ぜんたいとしては、会員が5名増と言う事でもう少しかと思いました。

最後に石丸ガバナー、ガバナー補佐の皆さん本当に1年間ありがとうございました。



第8Gガバナー補佐

高村 洋子  
(様似RC)

## 「任期満了！」～一筆啓上～

駿馬のように“アクティブ”に駆けつけた一年でした。第2510地区ロータリー野球大会に始まり～甲子園球場応援。ガバナー代理の国際奉仕“タイ事業検証”ツアー。RIメルボルン国際大会と締め括りました。一年間でこれ程、多くの“友”と出会いそして“友”と繋がる事が出来たのは、「ロータリー」ならではのface～to～faceでしたね。

“私で良ければやらせて頂きます”が自分の信条。緊張しても一年！楽しんで一年！ならば私は後者を選びます。ロータリーは職業あつてのクラブでありますので、当初とても心配致しましたがお陰様で事業に穴を空けることも無く、12人(私も含めて)のガバナー補佐の皆様と本音のお付き合いが出来たと感じています。この事はきっとロータリアンでいる限り「絆」となるでしょう。又、各地区役員、皆様の日頃のご尽力に触れて本当に敬服致しました。加えて感謝申し上げます。第8グループは地区中心部から遠くに在していますので、限られた時間の中での理解不足を反省致します。明日から始まるガバナー補佐の皆様“自分らしくありのままの姿”で担われて下さい。

～やっぱりロータリーって“本当！”いいですね～それではsee you again！



第9Gガバナー補佐  
濱中 實  
(室蘭RC)

## 「それでごそローター」

初めてのガバナー補佐会議は2021年9月26日でした。

えっ！日曜の朝からwebで会議ですか？最初は驚きましたがそれから2022年6月19日の新旧ガバナー補佐引継ぎ会議まで9回もの研修会、勉強会が開催されました。年度が始まってクラブ訪問や会長・幹事会、公式訪問ではその勉強が大いに役立ったと思います。第9グループのIMは例年2月開催でしたが、今年は新型コロナウイルスの影響で6月開催となりました。しかし3年ぶりの開催で参加者皆さんが大変喜んで今までにない盛会となりました。

石丸修太郎ガバナーのロータリーに対する情熱と実行力はすさまじく、また人に対する優しさ、思いやりの心はそれ以上で、彼の下でガバナー補佐を務めることができたことはまさに最高の幸せだったと思います。

ガバナー補佐の一年半を振り返り一番の思い出は最初の対面の時でした。松下早苗ガバナー補佐に補佐一人ひとり全員LINEに強制的に加入させられました。有無を言わずにです。しかしその後のロータリー活動にどれ程役に立ったか！困った時、悩んだ時、うれしい時、楽しい時、何でもLINEのやり取りで解決できたと思います。一度に12人の強い、賢い、楽しい、優しい仲間が出来ました。皆様本当に有難うございました。全てのお世話になった方々へ感謝申し上げます。



第10Gガバナー補佐  
玉井 清治  
(函館亀田RC)

## 「新しい風」

5月8日に新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類感染症となり、季節性インフルエンザと同様の取り扱いとなりました。1年間を振り返りますと、昨年の就任時にはマスク着用など、日常生活の行動制限のなか、ハイブリッドでの例会や会員の感染によるクラブ例会の休会、zoomでのオンライン会議など、例会運営や奉仕活動、親睦活動などが思うようにいかない状況でした。ガバナー補佐を退任するにあたり、いままで感じていなかった、あたりまえの通常の状態が、いかにありがたいことなのかを痛感いたしております。また、通常でなかった約3年間のロータリー運動がもたらす悪影響を危惧しております。具体的には、安易に例会を休会する考えや、出席に対する重要性認識の欠如、奉仕活動へのモチベーションの低下がクラブの会員減少に繋がり、永続的繁栄に急ブレーキがかかるような気がします。

今一度、ロータリーの原点に立ち止まり、理念の再確認が必要だと思っております。

また、石丸修太郎ガバナーが地区運営にもたらした新しい風、「ガバナー月信」のペーパーレスのデジタル化や地区ホームページの改善、ガバナー補佐の早期確定と研修（セミナー）の実施などは地区内のクラブ会員数の減少に対する素晴らしい対策とも言えるでしょう。この「新しい風」が地区内にいつまでも続くよう、心から願っております。

最後に石丸修太郎ガバナー、同期のガバナー補佐の皆様、ご指導いただきましたパストガバナー、地区研修委員会のパストガバナー、地区委員会の皆様、ガバナー事務所の寺島さん、そして第2510地区の皆様全員に心より感謝を申し上げますとともに、今後のご繁栄を祈念いたします。ありがとうございました。



第11Gガバナー補佐

柏木 秀之  
(函館五稜郭RC)

## 「退任挨拶」

各クラブ会員の皆様この一年皆様のサポートにより無事にガバナー補佐の任期を終了する事が出来ました。

皆様のご協力に心より感謝を申し上げます。

石丸修太郎ガバナーの基、各クラブ訪問、札幌での研修、リモート研修、コロナを乗り越え4年ぶりのIM開催、第11グループ初の衛星クラブの設立は函館五稜郭RCの承認を頂き7月より活動予定でございます。

これらの活動は、私のロータリー経験の中で最も貴重で緊張の一年でございました。

思い返してみまして、クラブ訪問では各クラブ本当にそれぞれのカラーがあり、色々楽しく過ごさせて頂きましたし、勉強させて頂きました。

しかしながら、大変心配な統計結果も残りました。

第2510地区に於ける会員数の減少率が、ここ27年間で45%、第10、11グループでは、52%の減少となっております。

若い会員の意向を活かしつつ、各世代の会員が支えあって今後の、ロータリーの未来に繋がることを期待致します。

まずは、無事に次期ガバナー補佐へのバトンを渡せる事に、肩の荷がおりる思いでございます。

一年間、本当にありがとうございました。



第12Gガバナー補佐

田辺 真樹  
(白老RC)

## 「出会い多き一年！」

この一年石丸修太郎ガバナーのもとガバナー補佐として数多くの貴重な経験をさせていただきました。なんとといっても第2510地区では過去にないだろう事前研修の多さに他のグループ11名のガバナー補佐とともに当初は戸惑いました。反面、グループラインで繋がったガバナー補佐の皆さんとの情報交換は大変貴重なものでした。担当地域外の地区の情報に触れることができました。11名の皆さんのお人柄やロータリークラブに対する想いを学ばせていただきました。

この一年間第12グループ各クラブの会長、幹事、会員の皆様の友情のおかげでガバナー公式訪問はじめとするクラブ訪問・IM・地区情報員会によるzoom座談会・地区社会奉仕委員会による厚真砂浜清掃活動協力など数多くの事業を大過なく過ごすことができました。数多くのメンバーと出会うことができましたことは私にとりましてはかけがえのない年でした。

最後に石丸ガバナー、地区役員、事務局スタッフ、第12グループの皆さん有難うございました。